

大阪船員保険病院だより

小児科紹介

小児科では小児（中学3年生以下）の内科的疾患全般を診させて頂いております。時折外科的疾患（外傷・頭部打撲・腰痛など）でも小児という事で相談される事がありますが、小児内科である事をご認識して頂きたく思います。勿論、外科的か内科的か親御さんに判断出来ない場合は、診させて頂いた上で、しかるべき診療科或いは他の病院への紹介をさせて頂きます。

【一般外来】

当科では、午前中（8時45分から11時半）に一般外来を行っています。担当医は常勤医（平田）および非常勤医（小川・矢野・森本）です。全員小児科経験13年～29年の小児科専門医です。

午後は原則的に予約制にさせて頂いております。但し昼から急に熱が出たとか、11時半の受付に間に合わないとかいう場合は電話を下されば出来るだけ対応させて頂きます。16時以降病院は準夜勤体制になりますので、病院と診療所の役割分担といった面からも、診療所への受診をお勧め致します。

17時20分以降は小児科医が不在である可能性が高いので、大阪市内の救急システム（救急情報センター等）について説明させて頂いております。

なお当日午前中に受診されたお子さんについてのご相談は18時までには出来るだけ電話で応じさせて頂きます。

【専門外来】（午後：予約制）

・アレルギー外来

気管支喘息（いわゆる小児喘息）及び喘息性気管支炎のお子さんを主に診させて頂いております。一部アトピー性皮膚炎だけのお子さんも来られます。最近の喘息治療は、自宅吸入（ステロイド剤吸入を含む）療法あるいは抗炎症療法が中心です。自宅吸入の発達により、入院を要する発作は減っています。木曜日と金曜日の午後2時からですが、他の曜日にもお受けしております。急な発作は午前中においでください。なお重症持続型の乳児喘息（2歳未満）等の急性（重積）発作のお子さまにつきましては、喘息専門医に紹介申し上げます。

・腎外来

腎疾患のお子さんを診させて頂いております。慢性糸球体腎炎（学校や幼稚園検尿陽性者が多い）およびネフローゼ症候群のお子さんたちです。反復性尿路感染症あるいは慢性腎盂腎炎のお子さんもおられます。原則的には水曜日の午後2時からです。

・予防接種外来

予防接種には「定期接種」と「任意接種」があります。定期接種は、大阪市（府）からの委託を受けて行わせて頂いておりますので、指定された年齢なら無料です。三種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風）麻疹風疹混合ワクチン等を行っています。日本脳炎ワクチンについては、大阪市では現在中止中（一部東南アジア等海外渡航者については、検疫所あるいは大阪市立総合医療センターで行っているようです）です。

麻疹及び風疹ワクチンについては、昨年4月からは二種（MR）混合ワクチンを二回接種する事になり、一歳以上二歳未満が一期で5～6歳のいわゆる「年長さん」の時期で小学校入学までが二期ですのお気をつけ下さい。



（次ページへ）

小児科外来診療担当表

平成19年4月1日現在

	月		火		水		木		金	
	一診	二診	一診	二診	一診	二診	一診	二診	一診	二診
午前	平田	小川	小川	(平田)	平田	森本	矢野	(平田)	平田	小川
午後 【予約】	平田 一般		小川 予防接種		平田 腎外来その他		平田(乳児健診) 平田(アレルギー外来)		平田(アレルギー外来)	

【予約】 ・ 午後の予約時間について：予防接種は1時半から3時、水曜日は2時から4時半
・ 乳児健診は1時から2時、アレルギー外来は2時から3時半

(続き)

定期接種でもポリオ生ワクチンは保健センターで行われており、結核予防のBCGは医療機関でも受けられますが、有料になります。生後6ヶ月以内ですと保健センターで出来ます。4ヶ月健診で行う場合が多いようです。6ヶ月を超えた場合は保健センターにお問い合わせ下さい。

任意接種は親御さんの御希望で行うもので、インフルエンザ・水痘(みずぼうそう)・流行性耳下腺炎(ムンプス)ワクチンがあります。自費になりますが、それぞれの予防接種を受けるメリット(利点)とデメリット(不利な点)について説明させて頂いております。他の理由で受診された時にご相談ください。

なお、卵アレルギーのお子さんと1歳未満児に対するインフルエンザワクチンについては、有効性とリスクにかんがみて、お断りさせて頂いております。

B型肝炎のワクチンについては、母児感染予防については、健康保険が適用されますが、それ以外は自費になります。実際の費用については、医事課にお問い合わせ下さい。

火曜日の午後に予約制で行っています。

・乳児健診

乳幼児の健診を行ない、発達・発育をチェックし、育児や予防接種などのご相談に応じる外来です。当院には産科がありませんので、ほとんどが無料券のある後期乳児(生後9~11ヶ月)検診になります。もちろんご希望であれば、どの月数のお子さんでも診させて頂きますが、一ヶ月健診以外は自費になります。費用は医事課にお問い合わせください。木曜日の午後に行っております。

・心理相談・カウンセリング

心身症的疾患(夜尿症・チック症・吃音・心因性難聴等)のお子さんの心理相談・心理検査・知的発達診断などを心理士(長田)が行っています。毎週月曜日予約制になっております。

土曜日・日曜日・祝日や夜間の診療もさせて頂きたいのはやまやまですが、スタッフが少ない為なかなか出来ません。(現在は小児医療・救急のセンター化という事が言われています。)

そこで初診の方には全員、先に述べました大阪市の救急システムを「知っておくと安心」というパンフレットを使って説明させて頂いております。

当科に受診されるお子さんたちの90%以上は、港区及び南港地区在住のお子達です。地域に密着した小児科診療を目標としております。

小児(0~15歳)の事なら何でもお気軽にご相談下さい。子育ての悩みについてもご相談させて頂きます。

～ 脱毛症について ～

皮膚科部長 西井 芳夫

日常よくみられる脱毛症には、男性型脱毛症(AGA)、円形脱毛症、分娩後脱毛症、内分泌疾患に伴う脱毛、抜毛狂(トリコチロマニア)、薬剤による脱毛などがあります。

それぞれの特徴、治療法などについてお話しします。

(1) 男性型脱毛症 androgenetic alopecia (AGA)

AGAは壮年性脱毛、通称“若はげ”とも呼ばれ、思春期以降に額の生え際や頭頂部の髪が、どちらか一方、または双方から薄くなり、進行してうぶ毛のような十分に育たない髪が多くなる状態です。そのため、徐々に太く長い髪が細く短い髪になり、頭皮が透けて見えるようになります。遺伝性の疾患であるとされ、親、兄弟、祖父母にも同じ症状を認めることが多いようです。AGAの発生原因は毛根中の過剰な男性ホルモン(テストステロン)が5 α -還元酵素によって分解され、DHT(ジヒドロテストステロン)という物質が産生され過ぎ、このDHTの働きが毛根の発育障害を起こすということが明らかになっています。この酵素を選択的に阻害するフィナステリド剤がAGAに有効です。医療用医薬品としてすでに承認され、一日一回の内服で、抜け毛の原因物質であるDHTの産生抑制します。海外臨床試験では服用5年で、90%に抜け毛の進行抑制・発毛効果が認められています。

(2) 円形脱毛症

最も普遍的な脱毛症であり、名前のように直径2~5cmの円形の脱毛巣が生じます。好発年齢は若年層(約75%は25歳以下)で、脱毛は体毛(眉毛、髭、腋毛、陰毛)にもおこります。単発型、多発型、全頭脱毛、汎発性脱毛などに分類され、全頭脱毛や汎発性脱毛は重症で、治療に抵抗します。原因としては、遺伝、アレルギー、ストレス、甲状腺疾患など自己免疫異常とされ、治療には塩化カ

ルプロニウム、副腎皮質ホルモンの外用などがある程度は有効であるとされています。

(3) 分娩後脱毛症

出産後3ヶ月頃に気がつくびまん性の脱毛症です。通常、成長期毛の割合は85-90%ですが、妊娠4ヶ月目以降から約95%と高率となり、妊娠中は頭髮が抜けにくくなり、増加すると考えられています。分娩後3週目頃から成長期毛の割合は急速に減少し、6週目以降6ヶ月まで75%と低率となりますが、8ヶ月頃から脱毛数は減少し、妊娠前と同程度に回復します。

このように分娩後脱毛症の大多数は可逆性であり、治療は必要はないと考えられています。発症機序として、エストロジェンの関与などが示唆されています。

(4) 内分泌疾患に伴う脱毛

内分泌疾患あるいはさまざまな原因により内分泌異常があるときに生じます。副腎機能低下による小人症では約50%の頻度で現れ、甲状腺機能低下、亢進症でもしばしばみられます。なぜ起こるかは不明な点が多いのですが、脱毛様式は何れもびまん性であり休止期脱毛とされています。

(5) 抜毛症(トリコチロマニア)

自分の毛髪(頭毛、眉毛等)を自ら引き抜く脱毛症で、病変部は円形、不整形あるいはびまん性脱毛を呈し、断裂毛が認められます。発症の背景や誘因は発症年齢により異なります。幼児期、学齢期前に発症する抜毛症は単なる欲求不満の表現として理解され、特別な治療を要さないと考えられています。学齢期発症例では性格、心因が発症に関与し、概して予後はよく、数ヶ月から数年で治癒します。しかし、学齢期の中でも比較的高年齢の発症では神経症を合併していることが多く、難治性です。この場合、周囲の人間の協力、抗不安薬の投与などの他、専門医によるカウンセリングが必要です。

(6) 薬剤による脱毛

全ての薬剤が脱毛原因となる可能性があります。抗がん剤では、毛髪が成長途中で急速に抜けます。薬剤開始数日~4週後から症状が現れ、中止により比較的速やかに毛の再生は始まります。発症機序としては、抗がん剤の細胞毒性により毛母細胞の細胞分裂が急速かつ高度に抑制されるためと考えられています。その他の薬剤(抗甲状腺薬、経口避妊薬、ACE阻害剤、β遮断薬、精神科用薬など)のほとんどは、薬剤開始後3~4ヶ月から症状が現れ、中止後脱毛が止まるには3~4ヶ月かかります。薬剤開始から発症までが長いと、薬剤による脱毛と気づかないことが多く、原因不明なままが進行するため、患者さんの精神的な苦痛はかなりのものであるとされます。

以上、主な脱毛症について述べましたが、脱毛症はこの他にも栄養の問題、亜鉛や鉄分の欠乏、ストレスなど種々の要因で引き起こされます。大事なことは、診断とともにその原因がどこにあるのかを知ることだと考えます。自分の毛髪が少しおかしいなど思われたなら、なるべく早く皮膚科など専門医に相談される事をお勧めします。



2月21日に、財団法人大阪対ガン協会主催の平成18年度ガン研究助成奨励金の表彰が行われ、当院放射線技師の定昭彦職員が応募した「拡散強調画像による“全身のガン検索”」が臨床部門の奨励賞を受賞しました。

大阪船員保険病院の理念

理念：やさしさと安心の医療で人々につくします

基本方針：1. 患者さんの立場にたった適切な医療を提供すること

2. 地域に信頼される中核病院であること

3. 地域の医療機関との連携を推進すること

4. 病院職員は、より高度の医療を提供できるよう研鑽に努めること

5. 病院経営の効率改善を図り、健全経営に努めること

各科外来診療担当表

平成19年4月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金
内科	午前	1診 高光(腎・高血圧) 2診 小濱(循環器) 3診 越智(腎・高血圧) 4診 林(消化器) 5診 田中(糖尿病) 初診 村田	森(消化器) 村田(脳卒中・神経) 高光(糖尿病性腎障害) 越智(腎・高血圧) 木村(甲状腺外来) 楠	小濱(循環器) 林(消化器) 川嶋(糖尿病) 西川(消化器) 平島(腎・高血圧) 谷	高光(腎・高血圧) 日浦(消化器) 楠(糖尿病) 谷(循環器) 木村(高血圧・内分泌) 平島	森(消化器) 村田(脳卒中・神経) 柳瀬(腎・高血圧) 孝橋(消化器) 谷(循環器) 日浦
	午後	平島(腎・高血圧・S健) 田中(糖尿病)	日浦(消化器・S健)	楠(S健) 木村(高血圧・内分泌)	柳瀬(腎・高血圧・S健) 飯田(呼吸器)	西川(消化器・S健) 今泉(脳卒中・高血圧) 最終金曜日: 小濱(ペースメーカー外来)
小児科	午前	1診 平田 2診 小川	小川	平田 森本	矢野	平田 小川
	午後	平田(一般【予約】)	小川 (予防接種外来【予約】)	平田 (腎外来【予約】)	平田(乳児健診【予約】) 平田 (アレルギー外来【予約】)	平田 (アレルギー外来【予約】)
外科	午前	1診 甲 2診 順番制	石田 藤田	中口 順番制	甲 渡辺	石田 順番制
	午後				中口(乳腺・甲状腺)	
整形外科	午前	1診 篠田 2診 行方 3診 小橋	篠田 行方 大野	篠田 世古	世古 大野	小橋 大野
	午後					篠田(関節クリニック) (装具外来)
形成外科	午前	1診 日笠(あざ・一般外来)・外来手術 2診 川上(一般外来)	蔭山(一般外来) 岡本(第2・4週予約静脈瘤外来)	田島(一般外来) 日笠(あざ外来)	本多(一般外来・下肢静脈瘤)	田島(一般外来:奇数週) 曾束(一般外来:偶数週)
	午後		細川(予約特診)最終火曜日 日笠(第1・3週レーザー照射)	当番医(毎週レーザー照射)		
皮膚科	午前	1診 西井 2診 村上	西井 上原	梅垣	西井 村上	西井
	午後	予約検査 外来手術	予約検査 外来手術		外来手術	
泌尿器科	午前	1診 客野 2診 藤井	中川	客野 中川	順番制	藤井
	午後	検査		検査	高原/市丸 (腎移植外来)	検査
婦人科	午前		原田(検診)	尾崎(検診)	尾崎(検診)	
	午後					
眼科	午前	1診 堀本 2診 檀上	堀本 春田	檀上 島	檀上 石田	堀本 第1,3週:東堂
	午後	コンタクト・検査	検査	手術	検査	検査
耳鼻咽喉科	午前	1診 今井 2診 布施	交代制	今井	堀井	布施
	午後	検査		予約検査	第2・4週 補聴器外来	予約検査
ペインクリニック	午前		松村			
	午後		松村【予約】			

● 診療受付時間…午前8時30分～午前11時30分

● 午後は予約・紹介、救急患者の診療となりますが診療科によって異なりますので、ご確認下さい。
診療開始時間→午前8時45分です

※S健…船員手帳所持者に対する健康診断
※異動等により変更になる場合があります
各科外来にお問い合わせ下さい

※ 印刷の都合上時間のずれが発生し、担当医の変更がございますが、あしからず御了承下さい。